

## 山行報告書

神戸勤労者山岳会

1. 参加者 L 玉田、三谷、原田、野田、松本、三浦、藤戸
2. 山域／ルート 八ヶ岳：赤岳（地藏尾根～山頂～文三郎尾根）
3. 交通手段 車
4. 行動記録

<入山日 2018年1月6日。 下山日 2018年1月8日>

第1日（曇り） 美濃戸口 7：30---美濃戸山荘 8：50---赤岳鉱泉 11：30

赤岳鉱泉 12：30---中山展望台 13：20---赤岳鉱泉 14：00

雪上訓練 14：30～15：30

第2日（晴れ） 赤岳鉱泉 7：30---行者小屋 8：30---地藏の頭 10：20---赤岳山頂 11：40/12：0---

行者小屋 14：00---赤岳鉱泉 15：00

第3日（曇り） 赤岳鉱泉 8：00---美濃戸山荘 9：30---美濃戸口 10：20 入浴昼食後帰神

### 5. 山行中の問題点・事故に繋がる要因

#### a) 予定のルート・日程で行動出来たか？

予定ルートをはずれた場合、あるいは日程が異なった場合はその理由

3日目硫黄岳登頂の予定だったが、悪天が予想されたので中止して下山した。

#### b) 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか？

発生した場合、具体的に記す

特になし

#### c) パーティーで、山行中の事故に繋がる要因につき、山行後検討したか？

特になし

### 6. その他、ルートに関する情報・気がついた事など記す

- ・雪が少なく地藏尾根文三郎尾根は、鎖やはしごが出でていて、夏道に近かった。
- ・山頂に着いたとき、赤岳主稜線を登っている O さん S さんを見つけた。O さんが最後のビレー中だった。赤岳山頂で 2 人を待って一緒に記念撮影ができた。
- ・H さんが 1 日目赤岳鉱泉に到着後、高山病の症状が出て、周辺散策、雪上トレーニングに参加できなかった。2 日目赤岳登頂できるか心配したが、ゆっくりしたペースで水分をしっかりとって登ったので、無事登頂、全員が登頂を果たせてよかった。
- ・前夜泊した八ヶ岳山荘仮眠室（2000 円）は 2 段ベッドになっていてよく眠れた。
- ・2 泊した赤岳鉱泉は、グループ 1 部屋で、食事も美味しく 2 泊目はなんとステーキだった。

報告者氏名 玉田優子 2018年1月11日

